

速報

# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2016年(平成28年)

8月28日(日)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900-8525

那覇市天久905番地

©琉球新報社2016年

# 勇壮心揺さぶる



大太鼓と締太鼓のしなやかなばちさばきとゆったりとした演舞で会場を魅了する沖縄市池原青年会  
=28日、沖縄市コザ運動公園陸上競技場

# 全島エイサー 最高潮

【沖縄】沖縄の夏を彩る「第61回沖縄全島エイサーまつり」(主催・同実行委員会)沖縄市、琉球新報社、沖縄テレビ放送、市観光物産振興協会、市青年団協議会)は28日午後3時から、沖縄市コザ運動公園陸上競技場で最終日の本祭が開幕した。市内外から計14団体が集結。地域で受け継ぐ伝統エイサーや斬新な創作エイサーを繰り広げ、多くの観客を魅了した。

幕開けは沖縄市園田こども会が飾り、81人が力強い太鼓のばちさばきで会場を沸かせた。続く沖縄市婦人連合会は女性のみの優雅な舞を披露。対照的に、嘉手納町千原エイサー保存会は約200年前から伝わる男性のみの演舞で観客を引き付けた。沖縄市諸見里青年会、初出場のうるま市昆布青年会は地域伝統の演舞を披露した。

中盤の琉球國祭り太鼓は定番の「ミルコムナリ」で新しい振り付けを披露。唯一北部地域から出演の金武町並里区青年会は、徐々にテンポを上げる構成で観客をとりこに。うるま市石川エンサー保存会は200年以上続く伝統の型で来場者をうならせた。

うるま市から来場した川崎竜哉さん(40)は「自分もエイサーをしていたので、また踊りたくなる。カチャーシーを踊るまで帰りません」と目を輝かせた。

終盤は沖縄市の池原、松本青年会、読谷村渡慶次青年会、北谷町謝荊区青年会、うるま市平敷屋青年会(東)が出演。大ト리는沖縄市山里青年会が務める。



約300人が参加し、伝統エイサーをベースに独自の振り付けで会場を楽しませる琉球國祭り太鼓



# これぞ沖縄の夏



男性だけで構成され、空手の形を取り入れた力強い演舞を見せるうるま市石川エンサー保存会



かねの音色に調和した太鼓で観衆を盛り上げる金武町並里区青年会



隊列をそろえ華麗なばちさばきを繰り広げる読谷村渡慶次青年会